

学校名 八潮市立八幡中学校
所在地 八潮市緑町四丁目 19 番地 1
電話 048 - 997 - 1023

1. 本校の概要

本校は、開校28年目となる学級数12、生徒数431名の中規模校である。

本校は、16年度までの3年間学力向上フロンティアスクールとして、授業研究を重ね、11月に本発表を行った。その研究の成果を生かし、今年度から文部科学省の「学力向上拠点形成事業」の指定校として生徒のさらなる学力の向上・規律ある態度の育成に勤しんでいる。

2. 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

本校は、図書館年間指導全体計画をもとに、「資料を効果的に使って学習や生活に生かす」ことを重点目標として取り組んでいる。

“朝読書”の取り組み

平成5年度より今年度で13年間「10分間朝読書」の取り組みを学校全体で取り組んでいる。

本は、各自が用意し、自分の興味に応じた本を選択し、読んでいる。また、図書室からも年間約50冊程度を各クラスに貸し出しているのでその中から読んでもよい。静かに読書することで落ち着いて学習をする準備をするとともに、本に親しむ環境をつくっている。



“読書カード”の作成

自分の読んだ本について記録する読書カードを作成している。まずは、カードの片面に自分の読書テーマを決め、記入する。反対の面に読

んだ本のデータを記入する。読み終わったら同じ面に感想用紙をはる。これを繰り返し、学年毎に感想発表会を国語の授業内で行い、お勤めの一冊を紹介する。このカードのねらいは、

- ・ 自分のテーマを持って、読書に取り組むことで読む本を選ぶ楽しさに気付かせる。
- ・ カードに感想用紙をはり、読書を終えた達成感を味わえるようにする。
- ・ 他の生徒のカードを見て、自分の読書活動に生かす。

の3つである。常に教室に掲示しておき、いつでも振り返られるようにしてある。

「こども読書の日」、「読書週間」に向けての“読書集会”の実施(4月22日)

図書室の利用方法の確認や読書とどう関わっていくべきかを全校で考えるために集会を行った。朝読書の取り組みについて、各学年の生徒の抱負や感想を聞き、自分の読書活動を振り返ることのできた生徒が多かった。

“読書リレー通信”の実施

お勤めの図書の内容を図書委員が毎号紹介し、徐々に読み進める楽しさを味わう機会としている。

“図書便り”の発行

図書室の紹介や、購入図書の紹介等を行う。教師の勤める本を掲示にて紹介

(2) 家庭との連携、地域との連携

地域の図書館では、学校図書館への団体貸し出しを行っている。本校は、その制度を十分に活用し、総合学習の授業等で、地域の図書館の資料を多用している。

3. 成果と今後の課題

「10分間の朝読書」の取り組みにより、読書だけでなく、生徒の規律ある態度が確実に定着してきている。

今後は、読書活動だけにとどまらず、総合学習等、さまざまな場面で生徒のニーズに応えられる図書室とするために、図書や施設の充実化を図りたい。